

秩父の森林9タルク

基金使い取得

県生態系保護協会

埼玉県生態系保護協会  
(池谷奉文会長)は、水源地の森を守る「水のトラスト」しよつ基金」を使って秩父市の森約九タルクを取得した。今回で取得した森は合計十五タルクになった。生態系保護協会によると、絶滅危惧種のクマ

千タルクの森が必要という。今後も取得地拡大に向けて活動を続けていく。取得した場所は浦山ダム湖畔の森で取得額は約三百六十万円。荒川の水源地でクマタカ以外にも絶滅のおそれがあるツキノワグマなどが生息する。

タカが生息するには約二